

教育委員会 平成 25 年度 10 月定例会会議録

○日時 平成 25 年 10 月 18 日（金） 9 時 30 分開会、10 時 07 分閉会

○場所 鎌倉市役所 全員協議会室

○出席委員 山田委員長、朝比奈委員、下平委員、齋藤委員、安良岡教育長

○傍聴者 3 人

○本日審議を行った案件

1 報告事項

- (1) 委員長報告
- (2) 教育長報告
- (3) 部長報告
- (4) 課長等報告

ア 行事予定（平成 25 年 10 月 18 日～平成 25 年 11 月 30 日）

2 議案第 17 号 鎌倉国宝館協議会委員の委嘱について

山田委員長

定足数に達したので委員会は成立した。これより 10 月定例会を開会する。

本日の議事日程はお手元に配付したとおりである。本日の会議録署名委員を朝比奈委員に
願います。では、日程に従い、議事を進める。

1 報告事項

- (1) 委員長報告

山田委員長

今月は全国の神様が出雲神社に集合することで各地に神様がいなくなることで神無月と申すが、秋に近づくと紅葉が進んでお茶の世界でも非常に一番詫びた時期と言われている。私事だが、毎年伊勢神宮で献茶をしており来週奉仕させていただくのだが、今年は式年遷宮で気持ちを新たにしていきたいと思っている。これも私事だが先日出張で会津を訪問する機会があった。そこで日新館という会津藩の教育施設である学校を訪問してきた。文武両道を教育する非常に立派な総合学校で、日本で初めて水泳が教育に取り入れられた、そして学校教育が始まった地でもあるそうだ。会津は野口英世や新島八重といった今時の人だが、英雄を輩出しているし、場所自体は本当に山々のすそ野に田んぼが一面に広がって、どこまで進んでも田んぼというとても日本らしい風景が広がっていた。会津藩は経済的に非常に厳しく貧しかったものの後世を育てることが一番大事ということで自分たちが食べることに困って

いた時代に給食だけは子どもたちにだけは何かちゃんと食べさせたいということで学校給食が始まったということも聞いて、子どもたちの教育を重んじる大事にする気持ちが色々なところに出ていた。そして、その場所にも当時の学び舎が非常に良く再現されていて、実際子どもたちが勉強していた様子を人形が動いて実演していて、そこに解説が入ったり、砲術等体験できる場所もあったりして、訪れた人たちが色々体験できるプログラムが充実していて古都をうたう鎌倉としても観光そして教育の面で色々参考となることが多いのではないかと感じた。その後教育委員の活動報告だが、先月20日に下平委員が関谷小学校で児童生徒理解に関する研修会に参加された。一言願います。

下平委員

9月20日に1時間半と限られた時間であったが、関谷小学校の校長先生はじめ全先生方それからその他学校からも先生方の参加をいただき講演をさせていただいた。テーマとしては、「多様な保護者（児童）との共感的なコミュニケーションをとるには」というタイトルであった。講演ということであったが、少人数であったので、できるだけ実習をたくさん取り入れて校長先生その他先生方とワイワイとコミュニケーションとは何なのだろうと、傾聴するとはどういうことなのだろうということを体験しながら考えていただく内容にした。人間は社会的動物と言われるように、誰もが認められるということを求めて生きているのである。認められているという充実感がないとなにかちょっかいを出して認められるように仕向けようとするのが、子どもなどもまさに認められかたが足りなくなればいたずらをしたりするという心を持っているわけで、子どもだけに限らず大人になってからもちゃんと認めてもらえている実感がないと何か嫌な仕掛けをしてしまって、不愉快なコミュニケーションを人と取ろうとする傾向がある。どうも今社会全体が、昔と比べると人と向かい合っている時間にテレビを見ていたり、あるいはメールに向かっていたりということで確かにコミュニケーションと触れ合いが明らかに過去と比べると減っているわけで、誰もがやはり認められている感に不足している、そういうストローク飢餓という状態になると、人間というのはついつい人と変なやり取りをしがちなものである。実際先生方の中には、まさに多様な保護者や児童とのコミュニケーションに苦慮している悩みの中にいる方もいるようで、途中本当に大きくうなずきながらそして涙を流す先生もいた。何か感じていただけたのではと思う。改めて先生方と一緒に確認したのは、日ごろからしっかり共に生活する家族や一緒に働く仲間たちが、しっかりと目を見て挨拶しあっているとか、ほめたり励ましたり支え合ったりという言葉かけを決して怠ることなく続けていくということが、厄介な人間関係を減らすことにつながるのだなと改めて一緒に確認した。また機会があったら、先生方とこれからも色々考えていきたい。

山田委員長

それから23日には中学校の音楽会に齋藤委員が行かれたが、何かあるか。

齋藤委員

音楽会に参加させていただいたが、音楽を聴くということは指揮者とそれから演奏者と会場がひとつになった時に素晴らしい演奏になるということをよく聞くが、まさしくそれであ

った。生徒たちが中学生であるから、生徒たちのマナーがとても良く素晴らしかったと、演奏の方も素晴らしかった、本当に感動した。先生方、指揮をされる方、そして演奏を夢中でしている姿が、私たちの心に非常に響いた。これが学校教育の素晴らしさであることを感じてきた。

山田委員長

そして27日には総合計画審議会の第10回の会合に私が出席してきた。先日承認した最終案が市長から諮問され、後はこの計画に沿って特に要望することを答申としてまとめて実際の実施計画に期待を寄せるというところになっている。そして翌28日には市内で運動会が開催され、私は地元第二小学校の運動会を拝見してきた。どの競技も児童がいきいきと取り組んでいる姿がすがすがしく、そして騎馬戦を見ることができたが、女の子も非常に勇敢に勇ましく男の子にかかっていって、男女の差がないという感じで、落ちることも怖がらずに戦っている姿が凛々しくもありちょっと心配でもあったが、実際落ちて病院に運ばれたお子さんもいて、その方は後日また校長先生にお会いした時に聞いたところ、もう大丈夫ということであったが、学校の対処も非常に迅速であったし、それ以外の大きなけがもなく終了したようであった。ただ、その騎馬戦の時も校長先生・教頭先生がおっしゃっていたが、日頃の体力づくりをもう少ししていかなないと急にそのような激しいことを運動会でするとやはりちょっと心配が多いので、これから寒さにむかっていくにあたり、体感マラソンとか色々なことができると思うが、基礎体力作りというのを大事にした方がよいと感じた。また齋藤委員が第一小学校に行かれたようだが何かあるか。

齋藤委員

第一小学校は三色対抗になっていて、それぞれのチームが非常に熱を込めて、それぞれ勝つんだという意欲が感じられたところがあった。それで表現とかそれぞれの演技ひとつひとつに子どもたちの全身から「見て見て、僕たち私たちはこんながんばっているよ」と「素敵なんだよ」と一番いい場面を出していると感じさせてもらった。中でも表現をしながらもお隣の子ともとペースを合わせる、「一緒にやろう」という優しさ、チームというのを出しているような雰囲気があり、「先生たち見てください」というのと同時に先生方が今までどれだけ熱心に子どもと一緒に、いいかたちでここに持ってくるかということを計画的になさってきて、ここに発表の場があるのだという、一番子どもたちの行事の中で大好きな運動会、こんなに盛り上がることをできるんだということをしっかりと見学させてもらった。教頭先生も校長先生もいらしたが、他の方もいらしたのだが素晴らしい。本当にじーんとくるようなシーンもあり、私もやはりいいなとそんな思いをしてきた。素晴らしい運動会だった。

山田委員長

続いて12日に人権フェスタに参加されたことはいかがか。

齋藤委員

人権も大事なことだと思って参加させてもらった。その中で、子どもたちが人権作文を数

は忘れてしまったが、相当数の応募があった中で3点3人が選ばれて発表されたのだが、やはり子どもの生の声で自分の作文を気持ちを込めて読むというところに訴える力が大きかったと思った。私たちも常々よりいっそう人権について考えていかなければいけないということも学んできた。

山田委員長

翌13日は市民運動会が私どもの地域では開催され、私は市民として参加したのだが、毎年色々な世代の方々が一同に会して、また町内結束し、かなり殺気だつて得点を落としたり大変という緊張感に包まれるのだが、そういうイベントが本当に充実していて色々な方たちのご尽力でとても素晴らしいと毎年感じている。そして10月20日には鎌倉百年塾の第2回の講演会に朝比奈委員と下平委員が参加されたので、何かあるか。

朝比奈委員

鎌倉百年塾、官民協同による百年先の鎌倉イズムを考えるとといったお話で、リッツカールトンホテルの日本支社長であった高野さんという方のご講演をただ漫然と伺うというよりはグループで考えたりする機会があったり、どういう形式でその会がとり行われているか非常に興味があったのとやはりお寺の御堂で行うという必然、第2回目なのだが、1回目は建長寺さんでこれは単に高野さんの講演を伺うだけだったように聞いているが、今回長谷寺さんから本格的な始動になり、この後次回は11月に円覚寺の中の佛日庵を使って行うのだが、あえてお寺の御堂を使って鎌倉の百年先を皆で考えましょうということのご提案のようだ。これは色々な方面からの考えを色々な立場の方々がお集まりになって意見を出し合っ、最終的には何か結果がまとまるのかと思うのだが、とりあえずこの間の長谷寺さんでの集まりは特に結論を導き出すわけではなく、皆に気づきを与えるようなそういう投げかけであったのかという気がした。ただ、ずいぶん時間はたっぷりとしたような日程に思えたのだが、始まったらあつという間に終わってしまって、ちょっと私としては若干不完全燃焼なイメージがあった。これをあえて続けるのもすぐに次が来ないで、三か月ぐらい開けていくことに意義があるのだというようなお話だったのだが、その辺のニュアンスもちよつと、私もまだ不勉強でよく理解しきれないところもあったので、次回以降また参加して様子をみたいと思っている。私も必要ならば場所を提供して深く入り込んで行っても面白いかなと感じた。

山田委員長

そして最後に神奈川県市町村教育委員会で神奈川きずなブックという被災地の支援活動をしている。これは二宮町の方が発起人となり、震災直後に教育委員として何かで被災地に協力したいと被災地の子どもたちが心配だということでも何が一番求められているのかと色々なニーズを探ったところ、本を寄贈するのが、それもこちらの手元にあるものではなくて要望のあるものを迅速に贈ることがいいのではないかという話でまとまって、以後特に二宮町の方々が中心になって推進して、今まで2121冊の学校図書を、それから本棚などを岩手の学校を中心に贈っている。このところ資金が底をついているということもあり、このたび鎌倉市の教育委員全員で少し寄附をさせていただいた。それぞれの仕事の中でも被災地の支援というのは色々なかたちでしているが、教育委員としてもこのようなことを続けていきたいと思

っている。

(2) 教育長報告

2点ほど報告させていただく。1つが9月20日に起きた御成交番前交差点での交通事故の報告をさせていただく。時間は18時35分頃ということで、たまたま下校途中の御成中学校の子どもたち7名ほど部活動が終って信号待ちをしていた。この中の3名が車に跳ね飛ばされるという状況があった。出血等があつて事故当時は本当に心配していたところだが、3名が救急車に運ばれ診察等をしたところ、大きなけがではないということでとりあえず皆戻って、ただ次の日からは連休になったので、学校では土曜日部活動への対応とか、それから保護者への対応等をする中で対応してきた。子どもたちの方はけがの状況がそれほどひどくなかったもので、9月29日までに3名とも全員退院をしたところである。ただやはり心の病とかまだ不安なところがあったので、しばらく自宅で療養し、今週10月15日から学校に少しずつ登校するようになっている。ただ6時間ずっと教室で授業を受けるということはまだ出来ていないので、色々先生方が工夫しながら子どもたちの学習支援等を含めて、この間休んでいたところの学習等を支援しているところである。よって、今は元気で学校に通って来ているので本当に色々ご心配いただき感謝する。

それからもう1点は、10月16日に台風26号が来て、その状況を報告したいと思う。台風26号が関東地方直撃ということで、10年に1度くらいの大きな台風であるということで前日から気象情報等あったので、各校長先生方と教育委員会の方で連絡を取りながら、小学校は登校時間で非常に雨風ともにひどいと大変であるということで、前日から休校とさせていただいた。中学校は午前中くらいに台風がぬけるのではないかという予報もあったので、とりあえず自宅待機ということで対応するというので、前日子どもを通してご家庭に連絡したところである。16日当日は大船中学校が遅れて登校する予定であったが、グラウンドが一面水没をしてしまったために、子どもたちが校舎内に入ることが難しいとの学校の判断もあったので、大船中学校は休校とした。他の中学校については、9時半から10時半ぐらいを目途に学校に登校して授業を始めたということで、小学校16校、それから中学校1校が休校ということで対応したところである。各学校の被害の状況は特に大きなものはなかったが、雨漏り等がちょっとあつたと、それから小学校の先生方はちょうど子どもたちもいなかったので点検も含めて色々学校内の片づけが出来て良かったとの話があった。

(3) 部長報告

教育部長

先に9月議会が終つたのでそこでの議論についての話をさせていただきたいと思う。9月4日から当初9月26日までの予定で日程が組まれていたが、審議が延びて10月3日まで一週間延びて先日終つたところである。特に今回話をさせていただきたいのが、常任委員会の方で陳情が1本出された。これは、「学校教育において、子宮頸がんの正しい知識の学習、健診の大切さを教え、性の問題の低年齢化を止める教育を求める」についての陳情という長い題名のものである。それと同時に同じ方から福祉の方の関係で福祉部に対して「子宮頸がん

定期健診の推進と、ワクチン接種後の調査を求める」についての陳情があわせて出されている。私どもの方は教育こどもみらい常任委員会の所管で、先ほどの学校教育の関係で出されたわけである。その子宮頸がんワクチンについては、その陳情者の方がワクチンの接種後に健康被害に苦しむ中高生が出ていると、そういった中でその方が言うには根本的にはワクチンを打てば解決される問題ではないので、学校教育の中で子どもたちに誤った認識を持たせない性モラル教育をしっかりと、また学校教育において子宮頸がんの正しい知識の学習を行い、不安の多いワクチン接種はそのリスクを伝える。また、子宮頸がんは健診で予防できるとの知識を学ばせる、そういった陳情内容であった。教育委員会では学習指導要領に基づいて性の知識であるとか予防についての知識等についての教育を行っているところであるが、そういった説明をした中で常任委員会の委員さんの結論的な話としては、ワクチンについては今副作用等についてはまだ調査中であつたり、また教育現場で取り組んでいくというには時期尚早ではないかというようなことであつた。学校現場でそういうことが本当にできるかどうかというようなことの話もあり、今後もう少し様子を見ていこうというような意味で継続審議というかたちになった。あわせて福祉部の方で翌日また観光厚生常任委員会の中で先ほどお話しした子宮頸がんの定期健診推進とワクチン接種後の調査を求めるという陳情、これは厳しい財政状況の中で高コストのワクチン接種を市が行っていくというのではなく、子宮頸がんの予防効果を高めるための定期健診の推進を進めて行くべきだということなどで、またさらには鎌倉市において子宮頸がんワクチンを接種した子どもたちへの調査を早急に行つて欲しいという内容であつたが、これについても継続審議となり、子どもの調査などを市の方は行っていくことで取り組むことになった。もう1点は、これは直接私どもの教育部の関係の審査ではなかったのだが、陳情で今泉小学校の学童保育施設、これは子どもの家であるが、この設置場所を今子どもの家が今泉小学校の学区は確か2キロ弱ぐらい離れたところにあつて、バスで言うと5つのバス停ぐらい離れたところにあるということで、そこに子どもたちが行くには道幅も狭く危険なので、学校若しくは学校の近くに設置して欲しいといった内容の陳情であつた。所管はこどもみらい部青少年課ということで所管をしているが、子どもの家については、陳情者の話は最もだということで、採択されたとのことである。採択されてこども部の方はこども部としての色々な事情が多分あると思う。ただ、学校としても教育委員会としてもその辺のところも学校の中に設置できるかどうかについては、できる限り協力していくという方針で考えている。今後その辺はこども部の方と話し合っていきたいと思っている。

3点あり、もう1点は決算特別委員会の中での議論であり、本会議の一般質問でもあつたが、子どもの教育環境の中で近年夏になると35度を超えるような日が出てくるという中で、学校にクーラー等の空調設備を設置して欲しい、設置するべきだろうというようなお話があり、決算の中でも3・4名の方からお話が出た。我々も最近の暑さについては子どもたちへの影響を考えると何とかしなければならぬということは考えているが、一番大きな問題としては予算的な問題があつて、普通教室は今全く設置してないが管理諸室として校長室や職員室は昨年度までに設置が終わつたところである。普通教室が残っているわけだが、普通教室・特別教室、仮に普通教室だけでも設置した場合、まだ概算であるが、だいたい1校平均6千万から7千万かかると、特別教室も全部含めると1校平均で1億2千万から3千万くらいかかってしまうということもあるのでどのようにその辺を進めて行くか、お金をどうして

いくかというところが非常に大きな問題になっており、なかなか進められないという市の財政状況もある。ただ、決算特別委員会の中、あるいは一般質問の中でも委員さんの方からはそういったことは早く進めて欲しい、進めるべきだというご意見があったので今回ご報告させていただきます。

文化財部長兼世界遺産登録推進担当担当部長

9月定例会の一般質問で、質問いただいた内容について概要をお話申し上げたい。4人の議員の方からご質問があった。一人目は鎌倉みらいの池田実議員である。内容は市長マニフェストの4年間の実績検証という視点から質問をいただいた。

市長マニフェストにある伝統文化を気軽に学べる環境づくりとは何をイメージしていたのか、またその4年間の実績はどうであったのかという質問であった。私からは昭和45年から伝統文化を気軽に学べる環境づくりと郷土芸能の保護・育成を図ることを目的として、今回もこの日曜日に開催予定である鎌倉郷土芸能大会を1つの実績として挙げ、今後も地域の特性を活かした学習機会を増やしていくとともに伝統文化の保存・育成、継承に努めていきたいという答弁をした。続いて、無所属の竹田ゆかり議員から子どもたちが鎌倉の歴史を学ぶための機会の提供という視点からいくつか質問をいただいた。中でも子どもたちが歴史を学ぶうえで出土品など実物を直接見てもらうことが重要であって、そのようなものを学びの機会に活用することができないのかという質問であった。この質問に対して、今後出前教室や体験教室など学びの機会を増やしていきたい、加えて情報提供を積極的に小中学校に発信していきたい。また図書館学習パッケージのように出土品をパッケージにし、小中学校に貸し出していくような取組を検討していきたいというような答弁をした。竹田ゆかり議員は最後にこのような鎌倉の歴史について学べる施設の整備が必要と思うという質問をいただき、従来から話をしていたように扇ガ谷一丁目の用地を活用して、（仮称）鎌倉歴史文化交流センターを整備していきたいと答弁した。それから、自由民主党鎌倉市議会議員団の中澤克之議員から質問いただいた。内容は「文化財の適切な保存・保管について」として、前回の教育委員会定例会で報告した安国論寺から出土した鉄製の壺が破損した件について、経過、責任の所在、今後の文化財保存体制について鎌倉市はどう考えているのかという質問であった。今後、出土品については市指定文化財の指定に向けて文化財専門委員会に諮問していく。また今回の件を契機に、市の指導、助言体制の強化、県との連携の緊密化など文化財の適切な保存・保管体制の整備を早急に検討していくという答弁をした。そして最後に日本共産党鎌倉市議会議員団の赤松正博議員から世界遺産と文化財行政を絡めていくつか質問をいただいた。文化財行政の側面としては、遺跡包蔵地内での掘削届出等の件数はどれくらいあるのか、土品の保管状況等、そういうような視点から市の文化財の発掘調査体制を強化すべきであるとの質問をいただいた。これに対して、これまで発掘調査などの文化財行政を担う体制が必ずしも十分でなかったことから、今年度からこれらの課題をどう解決していくか具体的な検討を始めたところである。今後は、様々な事例を参考にしながら鎌倉の状況に適した、調査・研究体制の整備に取り組んでいきたいという答弁でしめくりをさせていただいた。

(4) 課長等報告

ア 行事予定（平成25年10月18日～平成25年11月30日）

山田委員長

次に行事予定についてだが、記載の行事予定について特に伝えたい行事などがあればお願いしたい。

教育部次長兼教育総務課担当課長

教育部、文化財部の行事予定は、議案集1ページから5ページをご参照願いたい。各学校での研修会や生涯学習施設での講座やフェスティバルなど記載のと通りの行事が予定されている。

質問・意見

山田委員長

図書館で、ファンタスティックライブラリーというのは何か色々行事があるようだが、特に何かあるか。

中央図書館長

10月26日から11月3日にかけて、4ページに記載されているように中央図書館、あとは各地域館でそれぞれ行事等を行っていくので、従前委員さんにお手紙を差し上げたが、展示等をやっているのでは、是非見に来ていただければと思う。特に「文化をつむぐ図書館でつながる」10月26日土曜日なのだが阿刀田高さんと資生堂の元会長が対談される。場所は鎌倉女学院で1時半からやるのでご出席していただければと思う。

（行事予定報告はそれぞれ了承された）

2 議案第17号 鎌倉国宝館協議会委員の委嘱について

山田委員長

日程の2 議案第17号「鎌倉国宝館協議会委員の委嘱について」を議題とする。

鎌倉国宝館副館長

議案第17号「鎌倉国宝館協議会委員の委嘱について」の提案内容をご説明したい。

議案集の6ページから7ページをご参照いただきたい。

鎌倉国宝館協議会委員は、鎌倉国宝館条例第12条にもとづき設置されており、委員数6名で、任期は2年間となっている。

このたび、現委員の任期が平成25年11月14日をもって満了するため、次期委員の委嘱をするものである。委嘱を予定している委員の氏名等は、7ページにある「鎌倉国宝館協議会委員委嘱予定者名簿」のとおりであるが、いずれも、学校教育、社会教育の向上に寄与される学識を有する方々となっている。次期委員の任期は平成25年11月15日から平成27年11月14日までの2年間となる。

質問・意見

(採決の結果、議案第 17 号は原案どおり可決された)

その他

文化財課担当課長

台風の影響の報告をさせていただきたい。先週の台風26号の関係だが、大仏の切通し火の見下バス停入口近くで、倒木が2本あった。今、2本倒れているが、見積もりを取って処理をする方向で事務を進めている。くぐったり、木の脇を通れば特に今は支障はないが早急に対応していきたいと考えている。もう1件、先日の大雨の時もご報告したが、鶴岡八幡宮において、シロシダレ10株のうちの一部が折れたとのことで、こちらは特に大きく被害があるというわけではないので報告だけさせていただく。それともう一つ都市整備部公園課の所管になっている化粧坂の切通しで台風の前17日金曜日に倒木があった。一時通行止めになっていてそれは解除されたが、その次の台風で土砂が流出し、危険ということで、今また一時通行止めをしている。所管課では倒木の処理などの処置を考えていると聞いている。

山田委員長

以上で本日の日程は全て終了した。これで10月定例会を閉会とする。